

令和元年度

特別養護老人ホームせくれ～Secure～

事業報告書(案)



みんなの「生きる」を
社会福祉法

社会福祉法人ふれあいの里

IV. 令和元年度特別養護老人ホームせくれ～Secure～並びに併設型短期入所生活介護事業所せくれ～Secure～事業報告書（案）

令和2年3月31日 現在

1. はじめに

特別養護老人ホームせくれ～Secure～は、約8年目が経過しました。大きな事故もなく周囲のサポートを受けながら運営させていただきました。公益的な取り組みとして、地域との交流も多く実施でき、多くの方々に「せくれ」を知っていただき、社会福祉法人としての使命を果たすことができました。

運営状況としては、今年度もショートステイの稼働率が平均100%～110%で毎日入れ替わり、利用者様にご利用をいただきました。主に新田地区の方々が多く、利用期間中に馴染みの関係となり「話し語りができることが楽しみ」と感じて頂くことで、継続的にご利用頂くことに繋がっており、職員の喜びと自信になっております。また、障害福祉サービスにおけるショートステイのご利用もあり、障害特性に応じた支援を提供することで、職員も知識・技術の引き出しを増やすことができています。ふれあいの里の基本理念・基本方針でもあります老人・障害関係なく誰かの役に立っていると思ってもらえるような支援、関わりをもって共存共栄に繋げていくという所を基本に関わって参りました。

長期入居者様については、ユニット棟で9名の方が退居されております。食事を摂る事が困難になり退居となるケースが多く、お亡くなりになった方々もいることから、改めて人生の最期まで関わらせていただくことの素晴らしさ、尊さをせくれ職員一同実感いたしております。日々、人生の先輩である入居者皆様に教えていただく事は数多く、それを我々の喜びと捉え、入居者皆様、ご家族皆様の満足に繋げて参りたいと思っております。

また、今年度は第三者評価を始めて受審いたしました。サービスの質の成果やサービスの具体的な改善点が明確化されサービスの質の向上といった意味でも、とてもいい経験になりました。また、当事業所でもっとも評価された「地域ニーズをくみとり、社会福祉法人としての役割を果たしている」といった点におきましては、新田駅前区長様を始め、民生委員様、地域の皆様と交流を深め、関わるすべての方々の「駆け込み寺」となるよう積極的に取り組んで参りました。10月に発生した台風19号では、ふれあいの里2事業所が避難所として開設し、非常食や布団等準備をさせていただきました。避難されてくる方はおりませんでしたが、地域の方々から「せくれさんで避難所にしてもらうと助かる」といった声も多数いただきました。今後も災害時には、地域における自主防災互助会と連携し、対応していきたいと思っております。さらにカフェや居酒屋、お茶っこ飲み会等でも地域の方々をお招きし模擬店での飲食やレクリエーションを実施いたしました。法人納涼祭では地域住民の皆様

へ向けた無料送迎の実施、やきとり、やきそば、かき氷、ジュースなども無料で提供させていただきました。今後も社会福祉法でも規定されているとおり、地域社会に貢献し無料又は定額な料金で福祉サービスにとどまらない取り組みを提供して参ります。

今年度の重点施策におきましては、「24時間シートの有効活用」「ケアプランとサービス」「介護ロボットの有効活用」に焦点を当て取り組んで参りました。24時間シートに関しては、まず入居者皆様を知る（必要な情報を収集する）という事から取り組みました。家族会で再度ご家族に担当職員から趣味や嗜好、生活歴等を教えていただき、24時間シートに反映させました。1日の生活リズムを把握することにより、より個別支援へ向けたケアができるのではないかと考えています。課題として「活用」までは至っておらず日々の業務の中でどう24時間シートを活用しケアに繋げていくかが課題となっておりますが、老人福祉法第33条へ規定されたユニットケアの視点を忘れることなく継続的に取り組んで参ります。

ケアプランに関しては、入居者皆様の具体的な希望が反映されるよう、密に関わる時間を介護支援専門員の現場配置で行いました。現場に入り職員、入居者様と関わる事で双方の思いや希望を引き出し、サービス計画書に反映させるよう行ってきましたが、ケアカンファレンスの際にご家族の意見や職員の意見もプランに反映させながら、利用者皆様の要望をより具現化したプランの作成に努めて参ります。介護ロボットの有効活用に関しては、眠りスキャンを使用する事で職員の負担軽減やサービス向上に繋がられるよう取り組みました。入居者皆様の急変時などには、特に眠りスキャンが有効的に活用でき呼吸、心拍の状態がパソコン画面により集約して状態把握が出来るため医療機関又はご家族等にも、より正確な情報をお伝えすることができました。今後はケアに活かし、より自立支援の強化に努めて参ります。

令和2年度は、よりよいサービスを提供する為にも、人と人との繋がりを大切にし、一人一人が根拠ある発言、行動をしていきたいと考えます。入居者皆様のサービスに直結して大事な事は、対人援助職としての心構えだと思えます。人が人を支援するという観点から、職員同士が良好な関係性でないと入居者様への質の良いサービスの提供はできないと考えます。職員一人一人が楽しく活気ある環境になれば、おのずとサービスの質も上がってくるのではないかと考えています。以上の点を踏まえ、次年度へ努めて参ります。

2. 施設の形態及び定員

事業名	居室形態			
	4人部屋	2人部屋	個室	合計
地域密着型介護老人福祉施設 入所者生活介護	12床	2床	18床	32床
短期入所生活介護	0床	8床	2床	10床
合計	12床	10床	20床	42床

※短期入所生活介護には、空床利用型障がい者短期入所生活介護サービスの利用可能枠2床を含む。

3. 入居者の状況

(1) 出身別入居者状況

出身地別	従来棟	ユニット型10名棟	ユニット型8名棟
迫町	7名	5名	3名
南方町	3名	1名	1名
豊里町	1名	0名	0名
中田町	1名	1名	2名
登米町	0名	1名	0名
石越町	0名	0名	2名
東和町	2名	1名	0名
米山町	0名	0名	0名
津山町	0名	0名	0名
合計	14名	9名	8名

(2) 年齢別入居者状況

	~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳~	合計
男	0	0	0	0	4	1	1	1	0	0	7
女	0	0	1	1	0	2	7	11	2	0	24
合計	0	0	1	3	4	1	9	12	2	0	31

最高年齢： 99歳

最少年齢： 68歳

平均年齢： 87.1歳

(3) 介護度及び男女別入居（利用）状況

① 従来型

令和2年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
女性	0名	2名	5名	3名	4名	14名	3.6
合計	0名	2名	5名	3名	4名	14名	3.6

② ユニット型

令和2年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0名	0名	3名	2名	2名	7名	3.9
女性	0名	0名	2名	6名	2名	10名	4.0
合計	0名	0名	5名	8名	4名	17名	3.9

③ 併設型短期入所生活介護

令和2年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
男性	0名	1名	5名	3名	1名	10名	3.6
女性	5名	7名	9名	5名	4名	30名	3.1
合計	5名	8名	14名	8名	5名	40名	3.2

(4) 稼働状況

①従来型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	14名	30日	420日	420日	100.0%
5月		31日	434日	434日	100.0%
6月		30日	420日	420日	100.0%
7月		31日	434日	434日	100.0%
8月		31日	434日	434日	100.0%
9月		30日	420日	420日	100.0%
10月		31日	434日	434日	100.0%
11月		30日	420日	420日	100.0%
12月		31日	434日	434日	100.0%
1月		31日	434日	434日	100.0%
2月		29日	406日	406日	100.0%
3月		31日	434日	428日	98.6%
従来型平均稼働率			5,124日	5,118日	99.9%

②ユニット型

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	18名	30日	540日	526日	97.4%
5月		31日	558日	540日	96.8%
6月		30日	540日	493日	91.3%
7月		31日	558日	527日	94.4%
8月		31日	558日	554日	99.3%
9月		30日	540日	523日	96.9%
10月		31日	558日	504日	90.3%
11月		30日	540日	540日	100.0%
12月		31日	558日	552日	98.9%
1月		31日	558日	528日	94.6%
2月		29日	522日	522日	100.0%
3月		31日	558日	549日	98.4%
ユニット型平均稼働率			6,588日	6,358日	96.5%

③併設型短期入所生活介護（障がい者短期入所生活介護を含む）

月	定員	営業日	100%稼働時日数	入居延日数	稼働率
4月	10名	30日	300日	341日	113.7%
5月		31日	310日	352日	113.5%
6月		30日	300日	345日	115.0%
7月		31日	310日	353日	113.9%
8月		31日	310日	350日	112.9%
9月		30日	300日	328日	109.3%
10月		31日	310日	305日	98.4%
11月		30日	300日	317日	105.7%
12月		31日	310日	312日	100.6%
1月		31日	310日	309日	99.7%
2月		28日	280日	323日	111.4%
3月		31日	310日	324日	104.5%
併設型短期入所生活介護平均稼働率			3,660日	3,959日	108.2%

(5) 利用者負担段階別所得区分の状況

① 従来型 令和2年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	0	0	0	0	0
女性	3	8	3	0	14
合計	3	8	3	0	14

② ユニット型 令和2年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	0	2	6	0	8
女性	0	4	4	1	9
合計	0	7	10	1	17

③ 併設型短期入所生活介護 令和2年3月31日 現在

所得区分	1段階	2段階	3段階	4段階	合計
男性	1	0	3	6	10
女性	2	1	2	25	30
合計	3	1	5	31	40

【上記所得区分の内容】

利用者負担第1段階	住民税非課税世帯・高齢福祉年金受給者並びに生活保護受給者の方
利用者負担第2段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以下の方
利用者負担第3段階	住民税非課税世帯・課税年金及び合計所得金額の合計が80万円以上266万円未満の方
利用者負担第4段階	左記以外の方（課税年金収入が266万円以上の方）

(6) 日常生活の状況（従来型+ユニット型：32名対象）

① 日常生活自立度の状況【日常生活自立度（寝たきり度）判定基準】（厚生労働省）

令和2年3月31日 現在

生活自立	ランクJ	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出する	
		1. 交通機関を利用して外出する	0名
		2. 隣近所へなら外出する	0名
準寝たきり	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしでは外出しない	
		1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する	1名

		2. 外出する頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている	8名
寝たきり	ランクB	屋内での生活は介助を要し、日中もベッドでの生活が主体であるが座位を保つ	
		1. 車いすに移乗し、食事・排泄はベッドから離れて行う	3名
		2. 介助により、車いすに移乗する	16名
寝たきり	ランクC	一日中ベッドで過ごし、排泄・食事・着脱において介助を要す	
		1. 自力で寝返りをうつ	0名
		2. 自力では寝返りをうたない	4名

② 日常生活動作の状況【日常動作判定基準】(厚生労働省)

令和2年3月31日 現在

1. 移 乗	A 時間がかかっても介助無しにひとりで歩く	7名
	B 手を貸してもらうなど一部介助を要する	14名
	C 全面的に介助を要する	11名
2. 食 事	A やや時間がかかっても介助なしに食事をする	11名
	B おかずを刻んでもらうなど一部介助を要する	13名
	C 全面的に介助を要する	8名
3. 排 泄	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	7名
	B 便器に座らせてもらうなど一部介助を要する	12名
	C 全面的に介助を要する	13名
4. 入 浴	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	2名
	B 体を洗ってもらうなど一部介助を要する	11名
	C 全面的に介助を要する	19名
5. 着 替	A やや時間がかかっても介助無しに一人で行える	5名
	B 袖をとおしてもらうなど一部介助を要する	13名
	C 全面的に介助を要する	14名
6. 整 容	A 時間がかかっても介助無しに自由に行える	10名
	B タオルで顔を拭いてもらうなど一部介助を要する	12名
	C 全面的に介助を要する	10名
7. 意思疎通	A 完全に通じる	16名
	B ある程度通じる	8名
	C ほとんど通じない	8名

③ 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準（厚生労働省）

令和2年3月31日 現在

ランク	判定基準	人数
I	何らかの認知症を有するが日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している	2名
II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても誰かが注意していれば自立できる	0名
IIa	家庭外で上記IIの状態がみられる	1名
IIb	家庭内で上記IIの状態が見られる	8名
III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする	0名
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる	10名
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる	3名
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする	7名
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする	1名

④ 認知症状による行動障害

徘徊	不潔行為	異食	自傷行為	心気抑うつ状態	火の扱い	幻覚	不穏興奮	妄想
0名	6名	2名	1名	4名	0名	3名	3名	2名

4. 各課毎の業務報告及び課題

平成24年6月1日より、特別養護老人ホームせくれ～Secure～が運営を開始し早いもので9年目を迎えようとしております。

各ユニットとも開所からこれまでの期間は、入居者のこれまでの『生活リズム』や『生活歴』を考慮し、生活する場所が変わっても安心して暮らせる場所『家』となるべく業務へ邁進してきました。また、介護サービスを提供する上で、知識や技術において、均等ではないため業務体制の構築へ時間を要し、より良いサービス体制の構築のため経験者、新卒者とも葛藤しながら業務へ一所懸命取り組む姿を垣間見て来たように感じます。

このような状況の中、大きな事故もなく、施設サービスを提供してこれたのも、看護、介護の責任者が中心となり、介護技術や業務へ対する姿勢、取り組み方ばかりではなく、『業務へ対する思い』を含め丁寧な指導を重ねた結果と感じます。

現在では、日常業務の他、これからの『せくれ～Secure～』のサービスの在り方について、法人の基本理念や施設経営方針を考慮しながら、業務へ取り組めるようになってきております。

今後とも介護課、相談課、看護課、栄養課、事務課、それぞれが連携を図りながら、入居者の皆様はじめ関わる全ての皆様にとって、なくてはならない施設を目指し努めてまいります。

以上を含め、令和1年度の課題と目標について、各課毎、以下のとおり報告します。

(1) 事務課

○ロボット等介護機器導入支援事業報告について

令和1年度ロボット等介護機器導入支援事業補助金交付より 3/12～見守り支援システム「眠りSCAN」24台を導入（従来棟・SS・ユニット棟における全居室へ配置）。

宮城県へ4/14時点で実績報告をしております。

<p>目的 ・ 目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の体調変化の早期発見・早期対応ができ、必要時は家族への連絡がスムーズにできる。 ・入居者様の状態に合ったケアと職員の業務効率化を図る。 ・夜間帯の入居者様の安眠を確保しながらケアを行う。 ・24時間シートの資料材料として活用し、入居者様の自立支援を促す。 ・職員の心身の負担軽減を図る（優先順位をつけて業務を行える）。 ・職員の介護機器に関する興味や知識を高める (見守りの補助役＝介護ロボットを活用するという「意識の土台作り」)。 ・他施設、他事業所等関係機関並びに地域住民へ介護機器の普及を図る。
<p>目的・ 目標達成のた めの手 段（施 設での 工夫を したと る等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規入居者様の生活リズムを把握し、24時間シートの反映に繋げる。 ・ショートステイの利用報告書へ現在より詳しく睡眠状態等の報告ができる。 ・ターミナルのアラーム設定基準(呼吸・心拍数)を決め、早期対応(嘱託医・家族への連絡)ができる。 ・ノンレム睡眠・レム睡眠を生かした介助(トイレ誘導等)ができる。 ・定期的巡視回数を減らすことで、優先すべき利用者様の介助にあたることができ、少しでも一人夜勤体制による身体的・精神的負担の軽減へ繋げる。 (優先順位をつけて業務を行える) ・介護機器メーカーへ依頼し、研修会を開催し、介護機器の理解と的確な操作方法を学ぶ。 ・施設内のユニット会議や各委員会でその都度、職員の意見や使用状況について振り返りを行う。

事務課 令和1年度の課題

職員の目線での入居者様へのサービスが増えてきている1年間であったと思います。入居者様に寄り添い意見や要望を引き出し、日々のサービスに「プラス1：入居者様にとって良いことや要望に応えるサービス」を行うことが職員一人一人の使命であると考えます。また、職員としての基礎・基本に振り返り、職員一人一人に課せられた役割をしっかりと実行することも重要であると考えます。地域における公益的な取り組みより、目の前の入居者様へのサービスだけではなく地域住民へ向けた社会福祉事業にとどまらないサービスを行うという社会福祉法人としての役割を果たすことを忘れず、重点施策を1つでも達成できるよう、次年度へ取り組んで参ります。

課題を改善するために講ずる計画の概要

昨年度より引き続き、社会福祉法人の職員としての役割、各関係法令や法人・施設の方針や目的など「基礎・基本」を周知・理解することが必要であると考えております。実行するだけでなく、目標に対する達成期日を明確にし、どこまで達成できているか、振り返りや評価を行うよう努めて参ります。目標や目的の設定については、事業計画書など示された内容について「見る・知る機会」を毎回の会議や委員会をとおして、周知して参ります。また周知した後、職員の理解度や行動後の評価も同時に進め、職員みなが同じ方向を向けるよう、会議や委員会、そして日頃の関わり方で、職員と向き合っていきたいと考えております。周知する際の相手への「配慮」を忘れず、相手の目線に立って、説明や報告ができるよう、周知方法についても改善してまいります。

(2) 相 談 課 (生活相談員・介護支援専門員関係)

①主な業務報告

【ケアカンファレンスの開催状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
8名棟	1	3	2	1	0	4	2	3	1	0	1	2	20	1.6
10名棟	0	1	4	2	1	3	0	2	1	2	1	1	18	1.5
従来棟	2	1	1	2	6	3	1	2	0	2	4	4	28	2.3
合 計	3	5	7	5	7	10	3	7	2	4	6	7	66	5.5

※入居者へ対し、3ヶ月に1回モニタリング、6カ月に1回ケアプランの見直し、1年に1回、ケアプランの立案を行った。

※ケア、栄養、機能訓練のケアプランを反映させた、入居者個々の24時間シートを整備した。

【月別入居者数】

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10名棟	0	0	3	0	1	0	1	0	0	1	0	0	6	0.5
8名棟	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.08
合 計	0	0	3	0	1	0	2	0	0	1	0	0	7	0.67

【月別新規入居申込の状況】

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	3	2	4	0	2	1	3	0	3	3	0	21
要介護4	0	1	1	2	0	2	1	3	0	0	3	0	13
要介護5	0	2	0	3	0	0	1	0	2	1	1	0	10
合 計	0	6	3	9	0	4	3	6	2	4	7	0	44

【地域別入居申込の状況】

令和2年3月31日現在

	迫町	登米町	東和町	中田町	豊里町	米山町	石越町	南方町	津山町	他市町村	計
男	15	1	4	2	0	2	3	5	0	0	32
女	18	0	3	5	0	1	7	2	0	0	36
計	33	1	7	7	0	3	10	7	0	0	68

【退居状況】

1. 退居理由

令和2年3月31日現在

	希望退居	施設間異動	入院継続	死亡（施設）	死亡（病院）	合計
男	0名	0名	0名	1名	3名	4名
女	0名	0名	2名	1名	2名	5名
計	0名	0名	2名	2名	5名	9名

2. 月別退居者数

ユニット/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
従来棟	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10名棟	0	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	1	7	0.58
8名棟	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0.17
合計	0	3	1	1	0	1	1	0	1	0	0	1	9	0.75

② 課題及び改善計画

相談課 令和1年度の課題
<p>1. 長期入居に空床を作らないようにし、短期入所の稼働を維持する。</p> <p>2. 入居者の満足度を上げるための良いケアの提供のため、しっかりと<u>入居者と向き合える体制づくり</u>を行う。</p> <p>3. 入居者の楽しみ（非日常）の部分を他課連携のもと、継続して行う。</p>
課題を改善するために講ずる計画の概要
<p>短期入所においては年間平均稼働率も100%を超え、安定している。しかしながら、これまで長期間ご利用いただいていた方の高齢化、他施設への入居等による稼働率の低下が予想されるため今後新規の方の利用をさらに増やし、安定した稼働へつなげていきたいと思ひます。</p> <p>長期入居においても9名の退居、7名の入居と入れ替わりの多い1年となりました。空床に関しては短期入所にて居室をご利用いただき、空床を少なくすることができました。今後も空床を減らすべく、入居者皆様が1日でも長く元気に過ごせるよう、各課との連携を図りたいと思ひます。</p> <p>入居者のケアに関しては、24時間シート、ケアプランを有効活用し、より良いケアを提供していきたくと思ひます。今後は<u>入居者とこれまで以上にしっかり向き合い</u>、よりご本人らしい意向を汲み取り、ケアプランに反映させることで、本人の意向に沿ったケアの提供に努めていきたくと思ひます。</p> <p>毎月実施してきた、カフェ、居酒屋のクラブ活動は入居者皆様からも好評の声をいただいております。今後も各課と連携し定期開催を行い入居者皆様の非日常の提供へとつなげていきたくと思ひます。</p>

(3) 看護課

①主な業務報告（健康管理の状況）

入居者様の健康状態を観察し、小さな変化も見逃さないよう、入居者様一人一人と関わりをもち、体調不良時には速やかに対応を行うよう努力して参りました。

また、各課との連携と情報の共有を図り、入居者様が毎日を笑顔で過ごせるよう看護師の立場から援助していきたいと考えております。

【嘱託医の回診状況】

嘱託医（宮崎裕医師）による週1回の回診では、入居者様への適切な処置や日常生活における健康管理をご指導頂き、快適な暮らしができるように体調の管理に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	5回	4回	4回	5回	4回	4回
人数	155名	123名	118名	155名	128名	127名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	5回	4回	4回	4回	4回	5回
人数	151名	128名	127名	122名	128名	157名

【歯科医師の回診状況】

月1回協力歯科医（千葉明宏先生）に診察を受け、適切な処置や歯磨きの指導をしていただき、口腔内の清潔保持と口腔機能低下の予防に努めて参りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人数	6名	6名	5名	7名	7名	9名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回診回数	1回	1回	1回	1回	1回	1回
人数	6名	6名	6名	6名	6名	7名

【理学療法士の指導状況】

個別リハビリの充実を図るため、月2回氏家理学療法士の指導でプログラムを作成し機能回復訓練を実施するとともに、入居者様それぞれに応じた筋力維持運動・関節可動域訓練を実施しました。また、日常生活の中で行うレクリエーションやクラブ活動を通して身体機能低下の予防を図りました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人数	17名	17名	19名	14名	16名	16名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
指導回数	2回	2回	2回	2回	2回	2回
人数	13名	15名	18名	15名	17名	15名

【入院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2名	2名	1名	0名	0名	2名	1名	0名	1名	0名	3名	1名	13名
外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名						
泌尿器科	0名	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	3名
脳外科	0名	1名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	2名
整形外科	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名						

【通院の状況】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	2名	2名	0名	0名	3名	7名	0名	0名	1名	0名	2名	3名	20名
外科	0名	0名	0名	0名	1名	0名	1名						
透析	26名	28名	20名	14名	13名	13名	13名	26名	26名	23名	24名	19名	245名
整形	1名	1名	0名	1名	3名								
腎臓内科	0名	1名	1名	0名	2名								
脳外科	0名	1名	0名	1名									
皮膚科	0名	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	1名	3名	0名	0名	6名
歯科	0名	0名	2名	4名	2名	2名	5名	2名	1名	0名	1名	2名	21名
婦人科	1名	2名	1名	0名	4名								
精神科	0名	0名	1名	0名	1名								

【結核健診の実施状況】

※令和2年2月13日付、宮城県結核予防会より胸部レントゲン撮影29名を実施。
 (他2名：透析にて毎月1回撮影済み、他1名：入居時検診にて2週間前撮影済み)

② 看護課 課題及び改善状況

看護課 令和1年度の課題
1. 入居者様と過ごす時間が限られている。 2. 行事になかなか参加できない。
課題を改善するために講ずる計画の概要
① 食事介助や入浴介助を通し日常の健康観察に努める。 ② 日常生活の中での生活リハビリに努める。 ③ 異常の早期発見に努める。

(4) 栄 養 課

① 栄養管理部門の主な業務報告

毎日バランスの摂れた食事を安全面も考慮しながら無事に提供し続けることが出来ました。給食だけでは行き届かない面は、定期開催のカフェや居酒屋の実施で入居者様の嗜好や要望をかなえた、こまやかな対応をすることが出来ました。他課との協力・連携あつての食事提供であるということを念頭に置き、今後もせくれらしい食事作りを心がけていきます。

【食事形態と提供給食数】

1. ユニット型 長期入居 (定員：18名)

令和2年3月31日現在

月	常食	ソフト食	ムース食	ミキサー	軟菜食	経管	合計 (1日平均)
4月	9.9	27.0	9.4	4.8	0.0	0.0	51.1
5月	12.0	27.0	6.0	3.1	0.0	0.0	48.1
6月	9.6	27.0	8.1	3.0	3.0	0.0	50.7
7月	12.0	24.0	24.0	3.0	3.0	0.0	66.0
8月	14.6	24.0	24.0	3.0	3.0	0.0	68.6
9月	15.0	22.3	9.0	3.0	3.0	0.0	52.3
10月	15.3	16.7	9.0	3.0	3.3	0.0	47.3
11月	15.0	21.0	9.0	3.0	6.0	0.0	54.0
12月	15.0	21.0	8.1	3.0	6.0	0.0	53.1
1月	15.0	21.0	6.0	1.8	6.0	0.0	49.8
2月	18.0	21.0	6.0	3.0	6.0	0.0	54.0
3月	18.0	21.0	6.0	3.0	6.0	0.0	54.0
合計	169.4	273	124.6	36.7	45.3	0.0	649.0

2. 従来型 長期入居 (定員: 14名)

令和2年3月31日現在

月	常食	軟菜	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	経管	合 計 (1日平均)
4月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
5月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
6月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
7月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
8月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
9月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
10月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
11月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
12月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
1月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
2月	9.0	18.0	6.0	6.0	3.0	0.0	42.0
3月	8.4	18.0	0.0	6.0	3.0	0.0	41.4
合 計	107.4	216.0	72.0	72.0	36.0	0.0	503.4

3. 併設型短期入所生活介護 (定員: 10名)

令和2年3月31日現在

月	常食	ソフト 食	ムース 食	ミキサ ー	軟菜食	経管	合 計 (1日平均)
4月	22.5	4.7	1.1	0.6	0.5	0.0	29.4
5月	21.7	4.8	1.0	1.2	1.2	0.0	29.9
6月	22.7	4.7	0.5	0.7	1.6	0.0	30.2
7月	23.4	3.2	1.1	0.8	1.2	0.0	29.7
8月	20.6	4.4	1.8	1.2	1.4	0.0	29.4
9月	19.1	5.2	1.6	0.8	1.8	0.0	28.5
10月	10.9	8.2	2.4	1.3	1.6	0.0	24.4
11月	8.3	14.4	1.6	1.7	1.3	0.0	27.3
12月	18.2	3.3	1.5	2.6	0.1	0.0	25.7
1月	16.0	6.4	0.7	0.9	1.5	0.0	25.5
2月	18.9	5.1	1.1	1.0	3.1	0.0	29.2
3月	18.1	5.7	1.6	1.1	1.0	0.0	27.5
合 計	220.4	70.1	16.0	13.9	16.3	0.0	336.7

【行事食の提供状況】

行事食に関しては、季節毎に工夫を凝らし、普段とは一味違った食事を楽しんでいただけるよう、心がけました。観桜会の際には、お花見弁当を提供し、入居者皆様と職員で桜を見ながら同じお弁当を味わう機会や、長寿を祝う会では、バイキング形式で提供し、入居者の皆様や御家族に楽しんで頂くことが出来ました。

提供月日	行事食名	献立内容
4月11日	観桜会	桜ちらし、天ぷら、鯖の西京焼き、炊き合わせ、果物盛り合わせ、茶碗蒸し
4月29日	昭和の日	セレクトメニュー Aナポリタン Bピラフ
5月13日	母の日	シーフードカレー オムレツ ほうれん草とベーコンの炒め物 ヨーグルト
6月1日	開設記念	そば、助六セット、天ぷら盛合、炊合せ、果物盛合
6月24日		セレクトメニュー A 焼きそば B 野菜炒め定食
7月7日	七夕	七夕ちらし寿司 京菜と豆腐のスープ 星ポテト 杏仁豆腐
7月15日	海の日	冷やし中華定食
7月27日	土用の丑の日	うな重風、吸い物、海老ともやし炒め 柚子ゼリー
8月10日	山の日	おにぎり(2こ) 豚汁 卵焼き きんぴらごぼう
8月24日	納涼祭	ハムカツカレー ヨーグルト
9月13日	十五夜	セレクトメニュー A月見うどん B月見丼+すまし汁
9月16日	長寿を祝う会	バイキング
10月11日		セレクトメニュー Aけんちんうどん B ゆかりご飯
10月31日	ハロウィン	ドライカレー パンプキンスープ ほうれん草の炒め物
11月3日	文化の日	ご飯 清汁 お刺身2点盛り 卵豆腐 甘酒
11月20日	収穫祭	おにぎり いも煮汁 はっと
11月23日	勤労感謝の日	ねぎとろ丼 清汁 だし巻き卵 甘酒
12月24日	クリスマス	クリスマスバイキング
12月31日	年越し	ご飯、年越しそば、赤魚の煮付け、野菜かき揚げ 茶碗蒸し
1月1日	元旦	ご飯、清汁、豆腐のかにあんかけ、おせち3点盛、紅白なます
1月2日	2日	ご飯、みそ汁、筑前煮、おせち3点盛、浅漬け
1月3日	3日	ご飯、みそ汁、厚揚げの和風あんかけ、おせち3点盛、黒豆
1月7日	七草粥	七草粥、豚汁、鮭塩焼き、春菊くるみ和え
1月13日	新年会	お寿司、天ぷら盛合、紅白テリーヌ、木の葉南瓜、炊き合わせ、茶碗蒸し
1月15日	小正月	小豆粥、けんちん汁 ブリ大根 かぼちゃのそぼろ煮
2月3日	節分	散らし寿司、けんちん汁 イワシ団子のみぞれ煮 やわらかきんとき

2月11日	建国記念日	ご飯、清まし汁、カツオのたたき ほうれん草の煮びたし
2月14日	バレンタインデー	ドライカレー クラムチャウダー ハートハンバーグ フルーツ杏仁豆腐
3月3日	桃の節句	お桜ちらし寿司、吸い物 花形豆腐ハンバーグ 三色ゼリー
3月20日	春分の日	山菜そば、筍ごはん 春野菜の天ぷら 菜の花お浸し

【非常食の備蓄状況】

非常災害に備え、3日間9食分を備蓄しております。また、東日本大震災を教訓とし、調理方法など工夫を凝らした食事が提供できるよう、給食委員会の場を活用し整備して参ります。

食品名	数 量	食品名	数 量
災害用 S50 白飯(5 kg)	7 ケース	五目豆(BH)(48 個入)	1 ケース
災害用 S50 五目御飯(5 kg)	1 ケース	ひじき(BH)(48 個入)	1 ケース
イソップ 災害パン オレンジ(24 個入)	2 ケース	切干大根(BH)(48 個入)	1 ケース
レスキュー みそ汁(24 個入)	10 ケース	かぼちゃいとこ煮(BH)(48 個入)	1 ケース
コーンポタージュ(30 個入)	2 ケース	朝からフルーツ黄桃(24 個入)	1 ケース
レスキュー ウィンナーと野菜のスープ煮(24 個入)	2 ケース	朝からフルーツミックス(24 個入)	1 ケース
おいしい防災食 豚汁(50 個入)	2 ケース	朝からフルーツ杏仁(24 個入)	1 ケース
レスキュー 牛肉大和煮(24 個入)	2 ケース	ピュアマンウーロン茶(30 本入)	4 ケース
レスキュー マーボー丼(24 個入)	2 ケース	野菜生活 100 オリジナル(30 本入)	4 ケース
レスキュー 鶏肉うま煮(24 個入)	2 ケース	レスキュー中華丼の素(24 個入)	2 ケース
徳用ビーフカレー ジャンボサイズ(9 kg)	1 ケース	JA 全農千葉白粥(50 食入)	2 ケース
サバのみそ煮 EO(48 個入)	1 ケース	さんま味付生姜風味(48 個入)	1 ケース
いわし味付け EO(48 個入)	1 ケース	立山の天然水 5 年保存(21×6 本)	5 ケース
サトイモいか(BH)(48 個入)	1 ケース	5 年保存水(1.5l×8 本)	4 ケース

※ 3日分の非常食となります。

② 栄養課 課題及び改善状況

栄養課 令和1年度の課題	
1. 栄養課職員1人1人が、入居者様の摂食状況や疾病等も把握しつつ食事作りに取り組む。	2. ユニット調理を介護課と協力して行う。職員からの企画提案の依頼がある時は協力し実行出来るように努める。
課題を改善するために講ずる計画の概要	
①調理をする際に、なぜこの入居者様はこの食形態で、この提供方法になっているのか関心を持ち、現状を把握することで、調理に取り組む際の注意点をより意識できるようにする。	
②入居者が慣れ親しんだ料理を介護課と協力し、一緒に作って食べる楽しみを味わって頂く。毎年行っている嗜好調査の結果を活かすことはもちろん、各棟で誕生会などの機会に行っている間食作りは継続して行っていけるよう、企画調整に努める。	

(5) 介護課

入居前の生活と入居後の生活が継続したものとなるよう、24時間シートの作成に力を入れて参りました。しかし、なかなか活用がうまくできておかないことがあります。まずは、入居者様とコミュニケーションを密にとり気づける職員を目指すことを、今まで以上に取り組んでまいりたいと思います。職員一人ひとりがきちんとした配慮ができ、社会人として恥ずかしくない行動が取れるように行い、ご家族様の満足度やサービスの向上に努めていきたいと思っています。今後も「基礎・土台」を忘れることなく、入居者様のための自立支援に繋げていければと思います。

また、以前から導入しておりました、介護機器・眠りスキャンについてもご家族様の安心に繋がれるように、今後も活用してまいりたいと思います。

【入浴の実施状況】

ユニット名	入浴種別	3月31日
8名棟	一般浴	1名
	中間浴	5名
	特浴	2名
10名棟	一般浴	1名
	中間浴	7名
	特浴	2名
従来棟	一般浴	9名
	中間浴	0名
	特浴	5名

【全体の状況】

入浴種別	対象者数
一般浴	10名
中間浴	8名
特浴	14名

ユニット別の特徴及び考察

入居者1名に対し、週2回以上の入浴を実施している。体調不良などにより入浴できない場合は、代替えとして全身清拭、部分清拭を行っている。各ユニット毎の入浴介助における特徴及び考察については、以下の通りです。

○8名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

○10名棟

- ・歩行、立位を保持される方については、ユニット内の個浴にて入浴されています。
- ・立位不可でも、座位が保てる方は、中間浴にて入浴されています。
- ・立位、座位が保てない方は、特浴にて状態に合わせて入浴されています。
- ・体調等入浴出来ない場合は入浴日変更、もしくは清拭の代替え対応しております。

○従来棟

- ・立位、座位保持可能な方は、個浴にて入浴されています。
- ・立位、座位保持できない方は、特浴にて入浴されています。
- ・ご本人様の心身の状況、本人様の希望や意向に合わせてシャワー浴を実施しています。
- ・ショートステイをご利用の方は、本人様の希望によりユニットの中間浴を使用します。

【ユニット別 排泄状況】 ※1日をとおしたケアにおいて、対象人数を記載。

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	おむつ交換	4名
	トイレ誘導	3名
	排泄介助	8名
	留置カテーテル	2名
計		17名
10名棟	おむつ交換	6名
	トイレ誘導	5名
	排泄介助	10名
	留置カテーテル	0名
計		21名
従来棟	おむつ交換	3名
	トイレ誘導	1名
	排泄介助	8名
	留置カテーテル	0名
計		12名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせてトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・尿意、便意がなく立位困難な方は、オムツにて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、パットの種類を使い分けています。

○10名棟

- ・尿意、便意がある方は、訴え時トイレ誘導を行い排泄されています。
- ・尿意、便意がなく歩行可能な方は、その方のリズムに合わせてトイレ誘導を行い、排泄介助を行っています。
- ・トイレ誘導については、訴え、または排泄シグナルを見落とさず、実施しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツの種類を使い分けています。

○従来棟

- ・歩行、立位可能な方は、定時のトイレ誘導、声掛けにて対応しています。
- ・歩行、立位出来ない方は、定時のオムツ交換にて対応しています。
- ・入居者個々の状況に合わせたトイレ誘導、オムツ交換を実施しています。
- ・入居者個々の状況により夜間オムツ交換の方でも日中職員2名にて、トイレ介助を行っております。
- ・入居者個々の排泄量、皮膚の状態等に配慮し、オムツ、パットの種類、オムツの回数を検討し、対応しております。

【ユニット別 食事介助状況】

ユニット別	介助別	3月31日現在
8名棟	全介助	1名
	一部介助	2名
	自立 (セッティング)	5名
	計	8名
10名棟	全介助	2名
	一部介助	0名
	自立 (セッティング)	8名
	計	10名
従来棟	全介助	5名
	一部介助	2名
	自立 (セッティング)	7名
	計	14名

ユニット別の特徴及び考察

○8名棟

- ・自立の方は、個々の食べるペースを尊重し、見守りを行っています。
- ・途中で手が止まってしまう方には声掛け、又一部介助にて対応しています。
- ・居室で食べたい方へは定期的に巡回し見守りしながら安全に食事が食べられるよう、配慮しております。

○10名棟

- ・基本的に提供時間は決まっていますが、食事提供時間内でそれぞれ好きな時間に食べて頂いています。また、出来る限りご自分で食べて頂けるよう、声掛け、配慮しながら必要時に介助行っております。
- ・入居されている方の楽しみでもあり、生命の維持に重要な『食べる』を大切に職員同じ思いで食事の時間を提供させて頂いています。入居者個々のペースで、ゆっくり落ち着いて、楽しい雰囲気の中で、環境にも配慮しながら食事を提供できるよう、努めています。

○従来棟

- ・配膳、セッティングは職員が行い、自力摂取を基本とし、見守り、声掛けを中心に食事ケアを実施しています。
- ・食べこぼしや途中で手が止まってしまう方には、見守りや声掛けを行い、可能な限り自力摂取できるように促し、自力摂取、一部介助、全介助と見守りながら介助しています。
- ・離床が負担になり、居室で食べたい方、一人でゆっくり食べたい方等居室でご本人の要望に応じた対応を心掛けています。
- ・入居者の状態や意向をお聞きしながら、嗜好品を購入して対応しております。

【ユニット別 余暇活動実施状況】

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット	外出支援	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4
	お菓子作り	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	誕生会	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	1	9
	ユニット行事	0	1	1	1	0	1	1	2	1	0	1	0	9
	個別外出	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
従来棟	ユニット行事	1	1	2	2	1	1	1	1	0	0	1	1	12
合計		1	4	4	5	3	4	3	3	3	1	3	2	36

【ひやりはっと・事業報告状況（ユニット別）】

入居者の日々の変化を気づけられるように日々邁進しております。介護ロボット（眠りスキャン）の導入で居室内での状況、睡眠状態を以前より把握できておりますが、ショート入居者様の行動に対し予測ができないことがあります。そのため事故の件数は、前年度に比較すると多くなっております。ヒヤリハット報告件数も前年度より増加しており、職員が日々のケアの中で「気づき」を高められたと思います。今後も事故の発生を未然に防ぐ為のヒヤリハット報告（気づき）を多くして、施設職員全体での危険予知トレーニングを実施します。職員の危険に対する意識を高めながら、職員全員が共通認識を持ち、事故防止に努めていきたいと思っております。

ユニット/月	余暇活動	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
8名棟	ヒヤリハット	4	1	2	4	3	3	2	5	2	1	0	0	27
	事故報告	0	2	2	2	2	2	4	1	0	0	1	0	16
10名棟	ヒヤリハット	5	1	5	1	1	2	1	3	0	2	0	0	21
	事故報告	2	0	1	4	3	3	1	3	1	0	1	3	22
従来棟	ヒヤリハット	17	13	20	5	2	6	6	7	17	7	5	1	106
	事故報告	13	10	4	9	7	5	8	4	13	3	5	4	85
合計		41	27	34	25	18	21	22	23	33	13	12	8	277

②課題及び改善状況

ユニット型 8・10名棟

ユニット型 8・10名棟 令和1年度の課題
<p>施設の共通目標は「入居者様の笑顔の為に」となっております。ユニットでは、業務に追われ入居者様と寄り添いの時間が取れていない現状である。「入居者様が生活する上で何を望んでいるのか」をしっかり向き合い、自立した生活支援に向けて必要とする介助はどこか、観察する目を養うことをユニットの目標とし、取り組んで参ります。入居者様一人一人が安心して笑顔で元気に暮らすことができるように努めていきたいと思っております。せくれ開設から8年が経過し、業務の見直しを定期的の実施し、業務改善を行いながら入居者様との「寄り添い」、理念にもあるように「気づき」を大切に考え、ユニット棟職員全員で取り組んで参ります。</p> <p>また、もう一つの課題でもある空床時の対応についても、各課と連携を強くし収益に繋がられるようにしていきます。</p>

課題を改善するために講ずる計画の概要

- ① ユニット会議にて定期的に業務の見直しをかけ、業務効率化を図り、時間を有効的に使い入居者との寄り添いの時間を作り出す。
- ② 入居者と接する際は入居者目線で考え、常に相手の立場になって関わりを持つ。
- ③ 基礎土台共通ツールを活用し個々の状態、自立度を観察し必要な分のケアを提供する。
- ④ 生活の中でのリハビリを行う。役割の継続、またその方に合った役割を見つけ意欲を持ち生活を送れるよう支援する。
- ⑤ 入居者の楽しみを創出する。個々に合わせたレクリエーションやリハビリ、活動を実施する。
- ⑥ 各課、特に相談課との繋がりを強くし、空床時早急な対応を行いショートステイの利用に対応していく。ショートの稼働へ貢献していく。

従来棟（多床室）

従来型（多床室） 令和1年度の課題

昨年同様、職員一人一人が、自分の置かれている職責をきちんと理解しきれていない為、使命、目的、目標を見失ってしまっていたように思います。会議等で基礎・土台を勉強しながら使命目的について勉強してまいりました。今年度は、社会人としての意識が不足していたように思いますので、どうしたらいいのか？を一人に考えていただきながらより良いケアができるように努めて参ります。寄り添いを持ちながら24hシートを上手に活用し、今持っている機能を低下させないように、趣味、嗜好に合わせた活動をしていきたいと思っております。

介護機器については、眠りスキャンの導入により、入居者様をより深く知る事ができ、家族様や職員の安心につながる事が出来ました。また、今後も介護機器を使用しながら、スキルアップにも力を入れながらケアにあたりたいと思っております。

課題を改善するために講ずる計画の概要

- ① 職員一人ひとりが目標を持って入居様の笑顔を引き出さるよう努力して参ります。
- ② 家族様の安心や職員の心身の負担軽減の為に昨年度同様に眠りスキャンを活用して行きたいと思っております。
- ③ より良いケアができるように、努力を惜しまずにスキルアップを目指し内部研修、棟会議などで勉強して参ります。
- ④ 職員間のコミュニケーションづくりを図り、同じ目線で統一したケアをするように致します。

5. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 各会議の開催状況

会議名	参加者職氏名	開催日	会議内容
1. 運営推進会議	<ul style="list-style-type: none"> ・登米市福祉事務所 長寿介護課担当職員 ・迫町地域包括支援 センター 高橋辰様 ・新田駅前地区 区長 石川法夫様 ・新田駅前地区民生委 員 佐藤由美子様 ・せくれ家族会会長 酒井俊則様 ・入居者代表3名 ☆岩淵あすか施設長 ・近藤美喜事業係長 ・久道千秋介護係長 ・佐藤教充全体主任 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・佐藤美和部署主任 ・菅原洋子看護責任者 	<p>平成31年 4月26日</p> <p>令和 1年 6月28日</p> <p>令和 1年 8月23日</p> <p>令和 1年10月25日</p> <p>令和 1年12月20日</p> <p>※コロナウイルス感染症 対策により、令和2年2 月以降の開催については 中止。(登米市福祉事務所 と協議の上、中止を決 定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人及び施設の概要説明 ・事業計画、報告 ・運営推進会議規約及び構成員 の承認について ・入居者現況報告 ・ひやりはっと、事故報告 ・苦情意見及び改善状況報告 ・行事計画及び実施報告 (納涼祭、新年会、敬老会等) ・総合防災訓練実施報告 ・研修参加状況報告 ・実地指導監査報告について ・クラブ活動実施計画について ・地域との連携状況について ・地域における公益的な取り組 み活動方法について ・脱水対策について ・感染症対策報告について ・年間事業計画及び事業報告 (看護課、介護課、栄養課、相 談課、事務課より) ・第三者評価受審報告について ・質疑応答 ・各構成員より
2. 地域協力員会 議	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協力員 ・岩淵あすか施設長 ☆阿部健治防火管理者 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・氏家健一 ・小林克彦 ・岩淵聡史 	<p>令和 1年 6月21日</p> <p>令和 1年10月18日</p> <p>※コロナウイルス感染症 対策により、令和2年3 月以降の開催については 中止。(登米市福祉事務 所、地域協力員と協議の 上、中止を決定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協力員の紹介 ・総合防災訓練計画及び実施報 告について ・緊急時の連絡体制について ・各ユニット毎による、入居者 の現況報告、避難誘導時の入 居者対応の注意点 ・総合防災訓練の反省点 ・パッケージ型消火栓を使用 した消火訓練の試みについて ・普通救命講習会の実施報告 ・質疑応答 ・地域協力員より

<p>3. 職員全体会議</p>	<p>・特養せくれ全職員</p>	<p>令和 1年 7月25日 令和 1年 9月26日</p> <p>※別途、役職者会議や個別面談を通して施設方針、事業計画の説明等を実施。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・施設方針及び重点施策 ・人材育成について ・資金収支分析報告 ・ショートステイの稼働報告 ・行事計画について ・職員アンケートの実施 ・内部研修「ビデオ鑑賞」 ・感染症対策とラジオ体操 ・研修復命について (3件) ・職員アンケート実施報告 ・年次有給休暇の取得について ・稟議書における決済について ・業務改善及びマナーについて ・目標管理と評価について ・関係諸規則説明 ・各課の事業計画について
<p>4. ユニット会議 【8、10名棟合同】</p>	<p>・久道千秋介護係長 ☆佐藤教充全体主任 ・阿部健治リーダー ・鹿野佑太リーダー ・尾形信衛リーダー ・各ユニット職員</p> <p>※各課職員については必要に応じ参加することとする。</p>	<p>令和 1年 5月20日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度委員会について ・委員会より報告事項 ・ユニット入居者担当について ・基礎、土台より (法人理念施設経営方針) ・ガバナンス強化について ・入居者様情報共有
		<p>令和 1年 6月13日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様情報共有 ・ユニット役割分担表について ・ガバナンス強化 ・事業計画について ・委員会より報告事項 ・外出等連携について
		<p>令和 1年 7月12日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・業務見直しについて ・ユニット役割分担表について ・委員会より報告事項 ・身体拘束について (棟研修)
		<p>令和 1年 8月15日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台 (施設経営方針) ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・高齢者虐待に関して (棟研修)

			<ul style="list-style-type: none"> ・業務見直しについて ・委員会より報告事項
		令和 1年 9月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様情報共有 ・業務見直しについて ・委員会より報告事項
		令和 1年10月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台（せくれ5本柱） ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
		令和 1年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台、法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
		令和 1年12月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台（規則規定より） ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項 ・復命研修報告
		令和 2年 1月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台(コンプライアンス) ・法人理念読み合わせ ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
		令和 2年 2月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台（権利擁護） ・入居者様情報共有 ・パッドランク見直し ・委員会より報告事項 ・復命研修報告
		令和 2年 3月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台(コンプライアンス) ・入居者様情報共有 ・委員会より報告事項
5. ユニット会議 【従来棟】	<ul style="list-style-type: none"> ・近藤美喜事業係長 ・北浦佳代カリーダー ・各従来棟職員 <p>※各課職員については必要に応じ参加することとする。</p>	平成31年 4月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台、施設計画方針、施設理念、読み合わせ ・役職者会議から

		令和 1年 5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスの入居者について ・勉強会（接遇について） ・役職者会議から ・来月の行事について ・事業計画の読み合わせ ・業務について ・入居者様の現況報告
		令和 1年 6月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台、社会福祉法人と地域での役割読み合わせ ・各担当から ・業務について ・カンファレンスの入居者について ・事業計画について ・役職者会議より報告・ ・入居者様の現況報告
		令和 1年 7月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスの入居者について ・身体拘束研修 ・役職者会議より ・カンファレンスの入居者について ・業務について ・基礎土台読み合わせ ・来月の行事について ・入居者様の現況報告
		令和 1年 8月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・役職者会議より ・カンファレンスの入居者について ・業務について ・基礎土台読み合わせ ・来月の行事について ・入居者について ・業務について
		令和 1年 9月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・来月の行事について ・研修報告（有効なシーティング） ・業務について ・各担当から ・入居者様について ・基礎土台の読み合わせ ・入居者様の現況報告

		令和 1年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎土台の読み合わせ ・行事について ・入居者について ・業務について ・ショートについて ・勤務時間について
		令和 1年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告
		令和 1年12月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告 ・行事について ・業務について ・認知症のケアについての研修
		令和 2年 1月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告 ・行事について ・業務について ・身体拘束の研修
		令和 2年 2月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者様の現況報告 ・カンファレンスの入居者について ・来月の行事について ・基礎土台 ・役職者会議より報告 ・行事について ・業務について
		令和 2年 3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎、土台についての読み合わせ ・行事について ・入居者について ・業務について ・褥瘡について研修

6. 特別養護老人ホームせくれ～Secure～ 委員会の開催状況

施設全体の生活支援を構築する上で、職員各々が検討する場所が確立されることで『バランスのとれた入居者本位のサービス』へ繋がると捉え、入居者の人権の尊重を推進すると共に生活全般について、それぞれ調査・検討及び実践する機関及び各課の共通認識・連携を図る場所として以下の各委員会を開催した。
(令和2年3月31日現在)

委員会名	参加者職氏名	開催日	委員会内容
1. 防火対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・岩淵あすか施設長 ☆阿部健治防火管理者 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・氏家健一 ・小林克彦 ・岩淵聡史 <p>※コロナウイルス感染症対策により、令和2年3月以降の開催については中止。 (登米市福祉事務所、地域協力員と協議の上、中止を決定)</p>	令和 1年 5月 9日	・夜間通報訓練の実施
		令和 1年 5月 29日	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練内容の検討 ・地域協力委員会振り返り ・夜間通報訓練の反省及び振り返り
		令和 1年 10月 4日	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練内容の検討 ・地域協力委員会振り返り ・夜間通報訓練の反省及び振り返り
2. 安全衛生・感染予防対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・岩淵あすか施設長 ☆菅原洋子看護責任者 ☆菅原千穂看護師 ・久道千秋介護係長 ・及川雅敏部署主任 ・佐藤美和部署主任 ・北浦佳代ガリダー ・遠藤亜耶 	平成 31年 4月 16日	<ul style="list-style-type: none"> ・加湿器について (加湿器の必要性と撤去時期について) ・年間計画について ・職員の健康管理 (生活不活発病・生活習慣病・メタボリックシンドロームの予防法) ・労働者の疲労度蓄積度自己チェックリスト配布 (各職員の健康状態について チェックリスト配布)
		令和 1年 6月 17日	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防についての確認(感染症、標準予防策について) ・労働者の疲労度蓄積度自己判断チェックリストについて (前回結果と2回目のチェックリスト配布) ・その他協議事項

		令和 1年 8月 13日	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防（口腔ケア） ・職員の疲労度蓄積度自己判断チェックリスト ・各課情報交換
		令和 1年 10月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況 ・今後の対応について ・その他
		令和 1年 10月 15日	<ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザについて ・面会制限と対応について ・疲労蓄積度自己判断チェックリスト集計結果について ・その他
		令和 1年 12月 17日	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の感染症の流行状況について ・今後の対応について協議（面会制限等） ・疲労蓄積度自己判断チェックリスト集計結果について ・その他
3. 給食委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・岩渕あすか施設長 ☆佐藤美和部署主任 ・久道千秋介護係長 ・及川雅敏部署主任 ・菅原可偉 ・高橋花菜 ・岩渕聡史 	平成 31年 4月 5日	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・年間予定の説明・確認
		令和 1年 6月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・脱水予防について（試飲あり）
		令和 1年 8月 2日	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・各食形態について（試食あり）
		令和 1年 10月 4日	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・とろみ剤の使用法について（試飲あり）
		令和 1年 12月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・感染症食器の取り扱いについて

		令和 2年 2月 7日	<ul style="list-style-type: none"> ・行事食について ・検食簿のコメント ・ユニット・栄養課・厨房から ・食事介助について
4. 広報・行事委員会	☆今野健太 ・佐藤教充全体主任 ・菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・尾形信衛ガリガー ・前田優也	平成 31年 4月 2日	・観桜会について
		平成 31年 4月 11日	・観桜会の実施
		令和 1年 5月 28日	・幼老交流の実施
		令和 1年 7月 19日	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼祭について 目的、日時確認 ・内容について
		令和 1年 7月 24日	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼祭について、実施要領を もとに協議 ・役割等確認 ・模擬店について
		令和 1年 8月 6日	<ul style="list-style-type: none"> ・納涼祭について ・アトラクションについて ・地域独居世帯の対応について
		令和 1年 8月 24日	・納涼祭の実施
		令和 1年 8月 30日	・納涼祭の振り返り
		令和 1年 9月 2日	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿を祝う会について ・目的日時時間確認 ・当日スケジュール確認 ・役割分担について ・出し物について
		令和 1年 9月 16日	・長寿を祝う会実施
		令和 1年 11月 1日	・収穫祭について
		令和 1年 11月 9日	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭について ・企画内容について
		令和 1年 11月 18日	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫祭について ・企画内容・食事確認 ・役割について
		令和 1年 11月 20日	・収穫祭の実施
		令和 1年 12月 24日	・クリスマス忘年会、暖炉着火式の実施
令和 2年 1月 8日	<ul style="list-style-type: none"> ・新年会について ・日時時間確認 ・当日スケジュール確認 ・役割分担について ・出し物について 		
令和 2年 1月 13日	・新年会実施		

<p>5. リスクマネジメント・サービス向上委員会</p> <p>※委員会の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情処理に関すること ・事故防止に関すること ・身体拘束に関すること ・施設サービス全般の向上に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩淵あすか施設長 ・近藤美喜事業係長 ・久道千秋介護係長 ☆佐藤教充全体主任 ☆及川雅敏部署主任 ・佐藤美和部署主任 	平成 31 年 4 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会年間活動計画について ・現状におけるサービス提供上の課題及び要望について ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・定義されていない入居者の言動の制限等の有無について ・施設内部研修会の実施について(身体拘束について)
		令和 1 年 6 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情内容の確認、 ・苦情再発防止策の確認 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について、今後につなげるためにどうするか ・施設内身体拘束状況の把握、確認 ・身体拘束の有無 ・自己点検シートの導入について
		令和 1 年 8 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 基礎意識、身体拘束の定義 ・身体拘束ゼロのために、相手の気持ちになって考える
		令和 1 年 10 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策について ・施設内身体拘束廃止に関する指針の確認 ・身体拘束の有無 ・選ばれる施設となるために ・その他

		令和 1年12月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無 ・来年度の委員会開催日程について ・ヒヤリハット報告書の対策について検討
		令和 2年 2月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情報告と対応方法の検討 ・事故・ヒヤリハットの分類と対策 ・身体拘束の有無 ・予知トレーニング
6. 入居判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・岩淵あすか施設長 ・近藤美喜事業係長 ☆久道千秋介護係長 ・佐藤教充全体主任 ☆及川雅敏部署主任 ・佐藤裕一看護師 ・菅原洋子看護責任者 ・佐藤美和部署主任 ・菊池誠志ケアマネジャー ・氏家健一 ・阿部健治 ・嘱託医 ・法人監事 (第三者委員) 	令和 1年 5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の委員会活動予定について ・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 1年 8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 1年11月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他
		令和 2年 2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者及び入居待機者状況について ・入居待機者の優先度判定、その他 ・来年度の開催日程の確認
7. 褥瘡防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・岩淵あすか施設長 ☆菅原洋子看護責任者 ☆菅原千穂看護師 ・久道千秋介護係長 ・及川雅敏部署主任 ・佐藤美和部署主任 ・北浦佳代カリーダー ・遠藤亜耶 	平成31年 4月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の好発部位と良肢位について ・褥瘡予防ケア ・褥瘡現状報告 ・その他
		令和 1年 6月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡現状報告 ・褥瘡発生のメカニズムと防止 ・各課からの情報交換 ・その他協議事項
		令和 1年 8月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡の発生と関連のあるモニタリング項目について ・褥瘡の現状報告 ・褥瘡に関するケア計画書・褥瘡について ・各課との情報交換 ・その他

		令和 1年 10月 15日	・褥瘡現状報告 ・各課との情報交換 ・褥瘡予防ケア ・その他
		令和 1年 12月 17日	・現状報告 ・各課との情報交換 ・その他
8. イキイキ生き甲斐委員会 (平成 31 年度新設) ※委員会の内容 ・自立支援に関すること ・介護機器に関すること	・岩淵あすか施設長 ☆菅原有佑全体主任 ・及川雅敏部署主任 ・佐藤美和部署主任 ・菅原洋子看護責任者 ・菅原千穂看護師 ・高橋花菜 ・小林克彦	令和 1年 5月 7日 令和 1年 7月 2日 令和 1年 9月 3日 令和 1年 11月 5日 令和 2年 1月 7日 令和 2年 3月 3日	・委員自己紹介 ・委員会年間計画について ・介護ロボット研修について ・介護ロボット使用状況について ・ロボット使用アンケートについて ・ワークショップ ～職員の働きやすい職場とは～

※☆印は委員会の委員長及び担当者とする。☆印の多数の委員会については、委員長を互選で決定することとする。

7. 職員の資質向上策と福利厚生

社会福祉施設における役割には大きな期待が寄せられております。それに応える職員の資質向上と変化の激しい福祉施設のニーズの多様化に対応するため各種研修会へ積極的に参加し、職員間の連携と共通認識をより深めるため、内部研修も開催して参りました。また、人間性を重視した人材の育成に力を入れ、福祉施設の専門職員としての自覚と資質の向上に努めるとともに、職務に関連した資格取得の励行に努めて参りました。

(1) 外部研修

(令和2年3月31日現在)

日時	研修名	研修場所	主催者	参加職員名
7月29日	特定処遇改善加算説明会	登米市	登米市	1名
7月30日	経営協セミナー	仙台市	仙台市	1名
8月9日	T K C会計システム研修	仙台市	アイアイティー 吉田博税理士事務所	1名
8月25日	食事の選択、変更のタイミングと食事	仙台市	全国高齢者施設看護師会	1名
9月3日 ～ 6日	福祉サービス第三者評価者養成研修	仙台市	宮城県社会福祉協議会	1名
9月7日	ユマニチュード入門1日間コース	東京都	ユマニチュード学会	5名
9月15日	食の不良姿勢に有効なシーティング	仙台市	全国高齢者施設看護師会	1名
9月20日	介護技術ステップアップ講習会	仙台市	宮城県社会福祉協議会	4名
10月9日	コミュニケーション技術	仙台市	宮城県社会福祉協議会	2名

10月24日	制度背景から読み解く介護・医療事業所経営セミナー	仙台市	福祉よりよく ねっと協会	1名
10月26日	ユマニチュード入門1日コース	仙台市	ユマニチュード学会	4名
10月29日	働く人の健康確保&治療と仕事の両立支援セミナー	栗原市	瀬峰労働基準監督署	1名
11月11日	自立支援を進める為の「ハ・イ」-研修	登米市	東部保険福祉事務所	1名
11月21日	労務管理セミナー	仙台市	宮城県社会福祉協議会	1名
12月24日	令和元年度高齢者権利養護推進研修	仙台市	NPO 法人 エール	2名
令和2年 2月6日	新型インフルエンザ等対策研修会	登米市	登米保健所	1名
令和1年度 随時	登米市東郷小学校「お話を聞く会」に伴う講師派遣	登米市	登米市東郷小学校	0名 ※今年度実績

(2) 内部研修

施設サービスの向上と各課、職員個々のスキルアップを目的とし、講師又は施設職員を中心とし、特別養護老人ホームせくれ～Secure～所内研修会を開催致しました。

日時	研修名	研修場所	主催者	参加職員名
4月5日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
5月10日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
5月20日	従来棟 接遇についての研修	特別養護老人ホームせくれ	岩淵事業課長	職員 6名
6月7日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
7月5日	オムツ研修	特別養護老人ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
7月12日	ユニット棟 身体拘束について	特別養護老人ホームせくれ	久道介護係長	職員 5名
7月15日	サービスマニュアル (介護現場のリスクマネジメント)	特別養護老人ホームせくれ	久道介護係長 近藤部署主任	職員 8名
7月22日	個人情報、プライバシーマニュアルについて内部研修	特別養護老人ホームせくれ	久道介護係長	職員 9名

7月26日	施設内研修勉強会 (口腔ケアについて)	特別養護老人 ホームせくれ	菅原千穂看護師	職員 5名
7月26日	施設内研修勉強会(食中毒・感染予防 対策)	特別養護老人 ホームせくれ	菅原千穂看護師	職員 5名
8月2日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
8月15日	ユニット棟 高齢者虐待防止について	特別養護老人 ホームせくれ	佐藤教充全体主任 尾形信衛アドバイザー	職員 5名
9月5日	復命研修 むせ込み・食事ケアについて	特別養護老人 ホームせくれ	菅原洋子看護師	職員 6名
9月6日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
10月4日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
11月1日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
12月6日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
令和2年 1月10日	オムツ研修	特別養護老人 ホームせくれ	ユニチャーム	職員 1名
随時 ※職員入職時	新人職員研修	特別養護老人 ホームせくれ	各役職者(係長、 主任職以上)	随時 ※職員入職時

(3) 職員の福利厚生の実施内容

職員の健康管理と施設内感染の予防を目的とし、健康診断及びインフルエンザ予防接種並びに
腰椎検査、感染症対策へ万全を期してきました。(令和2年3月31日現在)

健康診断	対象者：全職員 受診数：35名	場所：サングリニック
腰椎検査	対象者：直接処遇職員 受診数：15名	場所：サングリニック
インフルエンザ予防接種	対象者：全職員 接種者数：35名	場所：特別養護老人ホームせくれ
ノロウイルス検査	対象者：栄養課・厨房職員 受診数：5名	場所：特別養護老人ホームせくれ
腰痛予防サポートジャケット	対象者：全職員	職員介護負担軽減対策として整備

8. 避難訓練の実施状況

発見、消火、通報、避難誘導の基本を職員一人一人が理解することで、非常時においても適切な対応が図れるよう、以下のとおり避難訓練を実施致しました。

(1) 避難訓練の内容

(令和2年3月31日現在)

月 日	訓練内容	出火場所	参加者数		所要時間
			入居者	職 員	
6月21日	消防署立会総合防災訓練(通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練)	厨 房	37名	31名	11分 22秒 ※夜間想定
10月18日	消防署立会総合防災訓練(通報訓練・消火訓練・避難誘導訓練)	厨 房	35名	35名	10分 30秒 ※夜間想定

(2) 消防署からの講評

訓練前にお伝えした「ゆっくり、落ち着いて、確実に」がしっかりと意識された良い訓練でありました。館内放送もゆっくり、聴きやすいように伝えており、現在の状況が入居者、職員も把握できたと思います。また今回から導入された避難完了済みカードも地域の方々から見やすいとの評価があり、避難誘導も効率的に行えていたと思います。今後さらに良くするために、次のことも意識して取り組んでみてください。

- ・訓練が実施要領のとおりに行動しすぎている。「目の前で本当に火災が起きている」という意識で取り組む。
- ・消防設備を有効活用し、避難の優先順位をつける。

9. 施設行事実施状況(全体行事)

(令和2年3月31日現在)

月 日	行 事 名	場 所	参加者・団体
4月11日	観桜会	特別養護老人ホームせくれ	入居者、職員
4月19日	喫茶・Café“せくれボックス” 「フルーツパフェ・フェスティバル」	特別養護老人ホームせくれ	入居者、職員
5月11日	習字クラブ	特別養護老人ホームせくれ	入居者、職員
5月14日	喫茶・Café“せくれボックス” 甘味処せくれ「お汁粉、葛餅」	特別養護老人ホームせくれ	入居者、職員
5月28日	新田小学校・幼老交流	特別養護老人ホームせくれ	新田小学校、入居者、職員
6月11日	お茶っこ飲み会	特別養護老人ホームせくれ	入居者、地域住民、職員

6月13日	習字クラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
6月20日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
7月4日	習字クラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
7月12日	居酒屋・ふれあい乃瀧 ビアガーデン せくれ「BBQ祭り」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
7月15日	入居者家族合同お茶会（家族会合同行事）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、入居者家族、職員
7月18日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
8月8日	喫茶・Café“せくれボックス” カキ氷・ところてん	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
8月9日	習字クラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
8月19日	お茶っこ飲み会（大運動会）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
8月24日	法人納涼祭（家族会合同行事） in せくれ	社会福祉法人 ふれあいの里	入居者、入居者家族、地域住民、職員
9月12日	居酒屋・ふれあい乃瀧 中華飯店せくれ 「焼きそば、ビール」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
9月16日	長寿を祝う会（家族会合同行事）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、入居者家族、地域住民、職員
10月10日	喫茶・Café“せくれボックス” 甘味処「お汁粉、わらび餅、柿、梨」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
10月21日	お茶っこ飲み会（介護講習会）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
11月1日	新田小学校・幼老交流会	特別養護老人 ホームせくれ	新田小学校、入居者、職員
11月9日	収穫祭・芋煮会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
11月14日	居酒屋・ふれあい乃瀧 「焼きそばパゴーンフェスティバル」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
11月14日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
12月10日	お茶っこ飲み会	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員

12月13日	ハンドマッサージクラブ	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、職員
12月21日	イルミネーションを見る会 「クリスマスだよ！ケーキ、果物祭り」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
12月24日	クリスマス忘年会・暖炉着火式 「サンタさん、来訪スペシャル！」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
令和2年 1月13日	新年会（家族会合同行事）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、入居者家族、地域住民、職員
2月14日	居酒屋・ふれあい乃瀧 「ラーメン処・せくれ」	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員
3月20日	Café“せくれボックス” 「甘味処せくれ」おしるこ祭り	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、職員

※令和2年2月・3月は入居者の感染症（コロナウイルス等）流行のため、行事等を延期・中止。

10. 福祉サービス第三者評価受審状況

福祉サービスを提供する事業所について、第三者が、客観的な立場から、そのサービスの質を評価することで、福祉サービスの利用者が、自分に見合った事業所を選択できるように支援するため、今年度より受審致しました。
(令和2年3月31日現在)

受審日	受審名	対象事業所	調査団体
12月11日 受審済	宮城県 福祉サービス第三者評価	特別養護老人 ホームせくれ	NPO 法人 介護・福祉サービス 非営利団体ネットワークみやぎ

11. 地域との連携状況

(令和2年3月31日現在)

月日	会議・行事名	場所	参加者・団体
7月13日	第1回 総合防災訓練・地域協力員会議	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、施設長、各職員
8月19日	お茶っこ飲み会行事（運動会）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、施設長、各職員
8月24日	法人納涼祭	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、家族様、法人内各 事業所、施設長、各職員
9月16日	長寿を祝う会（家族会合同行事）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、家族会、施設長、 各職員
10月21日	お茶っこ飲み会（介護講習会）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、施設長、各職員
11月9日	収穫祭・芋煮会（地域とあずきぼっど作り）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、家族会、施設長、 各職員
令和2年 1月13日	新年会 （家族会合同行事）	特別養護老人 ホームせくれ	入居者、地域住民、家族会、施設長、 各職員

12. 地域における公益的取り組み

社会福祉法の改正に伴い法人事業計画へ記載されているとおり、法第24条第2項へ準拠した取り組みを実施するとともに事業所が所在する地域の現況へ応じた取り組みを計画して参りました。

事業名	場所	具体的な内容
配食サービス	新田駅前地区 各自宅	<p>独居高齢者世帯の新田駅前地区、平日(月～金)の夕食のみ(17時配達)1日5食限定実施。どうしても偏ってしまいがちな食事で1食でも栄養バランスのとれた食事を低価格で味わって頂きながら配達時に誰かと会話(食事の感想や世間話)をすることで日常生活を充実したものにして頂く。(平成30年2月より開始)</p> <p>今年度は、新田駅前区長、民生委員と運営推進会議を通し、独居世帯にお声がけしていただきましたが、現在は希望される方がいないため、行っておりません。ご希望があればいつでも実施させていただきます。</p>
Café "せくれボックス"	特別養護老人 ホームせくれ	<p>施設内で自ら選択した(飲み物・お菓子)を飲食しながら他者との交流の機会を楽しめる趣旨で実施しているカフェに新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象とした方々をお招きし入居者様と楽しいひと時を過ごして頂く。(年6回・午前10:00～)</p> <p>今年度は、くずもち、お汁粉、あんみつ、ところてん、かき氷、パフェ、秋の果物盛り合わせ、ケーキバイキング等作り、皆様に食べて頂きました。普段のせくれでのおやつでは出ないような内容となっており、入居者の方も大変喜ばれておりました。新田駅前地区の方も呼びし、一緒に飲食ながら楽しい時間を過ごしました。</p>
居酒屋 "ふれあいの瀧"	特別養護老人 ホームせくれ	<p>施設内で居酒屋に外出した気分を感じて頂く事を趣旨として、晩酌や軽食を楽しめるよう実施している居酒屋に新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象とした方々をお招きし入居者様と一緒に1日の疲れを癒して頂く(年6回・午後16:00～)</p> <p>今年度は、おでん、お刺身、ラーメン、たら鍋、餃子など用意し、一緒にノンアルコールのお酒を提供しました。普段の食事をあまり食べない方でも居酒屋のメニューを見ると、食べていただく入居者様もいらっしゃいました。また、新田駅前地区の方も呼びし「こんなのも出るんだね～」と喜ばれておりました。</p>
ショッピングツアー	イオンセンター 佐沼店	<p>新田駅前地区の独居世帯、高齢夫婦世帯を対象としたショッピングツアーを無料送迎で実施し、地域の皆様と入居者様の交流を図る。</p> <p>今年度は、ショッピングツアーのご希望がなく実施できていない状況ではありますが、法人納涼祭等でも無料で送迎を実施させていただきました。今後ご希望があれば対応したいと思います。</p>
「お話を聞く会」に伴う講師派遣	登米市東郷 小学校	<p>登米市東郷小学校より依頼を受け、各専門職からを派遣し、児童の皆さんへ「誰かのために役に立つこと」、「特養の意味」などを教え、働くことの大切さややりがいを知って頂く(随時)。</p>